

・現在18歳の娘がくりのみ保育園の1歳児クラスだった時、正規職員の欠員が〇〇って担任が1人臨職でした。臨職ですので1日の勤務時間は正規と同じですが、1年間に2ヶ月、6ヶ月、4ヶ月という具合に人が変わりました。子どもも不安定でしたが、残りの正規職員にかかる負担も相当なものでした。議論の中で出ていた担当性の確保の為に、全員が正職ならば4:1で良いものを一人足りないがためにその年の1歳児は5:1の担当でした。臨職だから補助しかできないということではなく、非常勤でも同じことです。しかも、曜日毎の勤務となると、どんなに引き継ぎをしても無理なのは自分の仕事を通して分かります。しかも、大人は引き継ぎできても子供は引き継ぎを受けていません。事務仕事を途中で人が変わって次の作業を続けていくというのは違います。学童では非常勤が入っていますが、保育園とは開所時間が違います(学童だって子どもが来る前の時間に打ち合わせや準備に入れないのは不都合です。)

・前回も書きましたが、保育計画を策定しようとする市の態度が大問題です。資料11に出ていた「解消方針」は、学芸の森だとかJR高架下だとかの具体化したものを後追いで記載しているに過ぎないと思う。必要なのは具体的な計画です。そして計画を実現していく実行力です。市として喫緊の課題と市長名で認識を本当にしているのだとしたら、計画を立てて実現してください。どんな保育園を誘致するかなど(認証が良いのか、私立認可にするのか、私立なら社福なのか企業かなど)市の態度として確立して下さい。認証と私立認可ではそもそもの設置基準が違います。園庭の有無や保育士の配置、看護師や栄養士などの専門職の待遇も違います。他市では産業廃棄物処理場の隣にある認可園で窓も開けられないような所もあります。2015年から実施予定の新制度では、居酒屋の上階のあるような保育所も認められます。

けれど、同じ小金井に住む子どもが“預けられさえすれば良い”というような施設で育っていかなければならないというのは涙のどる思いです。

近隣市はどこでも計画を(厚労省の指示どおりに)たてています。御存知無い訳ではありませんまい。待機児の生じる原因をきちんと科学的に分析し、それに基づいて計画を立ててください。国分寺や模範側として世田谷など、資料請求したい位です。全文が資料として配付されるとは、嬉しい限りです。担当制のことなど、課長、ちゃんと知っていて下さい。保育課長なのですから。